

伝統を守ること・つなぐこと



ウィリアムモリスの世界をぜひ皆さんも感じてはいかがでしょうか。ものでつながる世界史、社会科・経済の学習にもなりました

6月2日(金)～4日(日)、運動部の県大会が開催されました。2日の大雨は、台風の影響でどうなることかと心配もありましたが何とか心残りなく成果を発揮できたのではと思っています。3年生の皆さん、仲間と共に育んだ大切な力をぜひ次のシーンへつなげてくれることを願っています。この週末は文化系クラブ、そして私にとっても「伝統の重み」や意味を感じる3日間になりました。**中信地区高校写真展**。高校生の視点、レンズを通して感じる心が、面白いほどに表現されていました。着眼点が素晴らしい！そして笑えるネーミング！センスの良さを感じました。←本校の作品もとても立派でした。3日は**吹奏楽部第33回定期演奏会**。卒業生や保護者の応援を力に、堂々とそして華やかに、素晴らしい演奏が繰り広げられました。新顧問・1年生を迎えあらたな形を模索した2か月。伝統の蟻吹サウンドは健在でした！伝統をつなぐ難しさは特にコロナによる3年間を経たあとの皆さんにとって、過酷な難題であったと思われます。しかし、新たな目線で「伝統をつなげる」思いもしっかり表現されていた演奏は、脱皮したような世界観を表現していました。只今、松本市芸術館で開催されている「**アーツ&クラフツ展**」。19世紀のイギリス、機械技術の発達とともに産業革命がおこり大量生産が可能となる中、ウィリアムモリスは中世の手工業に理想を見出します。手工業者の労働に対する尊厳を取り戻し芸術と生活を融合させるためモリス商会をたちあげたのです。伝統を守りつなげること。美しい作品の数々に息をのむ展示会になっています。私の大好きなデザインで思わず作品集を買いました。4日は私のライフワークとしている「**長野県合唱祭**」コロナで休止となり4年ぶりの開催。関係者、県の合唱団体が心の底から「音楽っていいな！」と会場いっぱいの歌声に、笑顔が広がった1日となりました。伝統が新しい形でつながっていきようとしています

私の高校青春時代。「思い」は「今」につながっています

